

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道55号 <small>かいふのね</small> 海部野根道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：徳島県海部郡海陽町多良 至：高知県安芸郡東洋町野根			延長	14.3km
事業概要 一般国道55号は、徳島市を起点として小松島市、阿南市、美波町、室戸市などを經由し、高知市に至る延長約240kmの主要幹線道路であり、四国広域幹線ネットワークを形成する基幹動脈として、四国東南地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。 海部野根道路は、高規格道路網として整備される「阿南安芸自動車道」の一部であり、四国横断自動車道及び高知東部自動車道と一体的に機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の支援を支える「命の道」として機能するよう津波浸水域を避けつつ役場や防災拠点、集落を連絡する道路である。また、都市部や空港からのアクセスを改善し、四国東南地域における観光振興や地域産業の育成・発展の支援、高次救急医療機関へのアクセス向上による緊急搬送など医療活動の支援を目的として整備を推進している。					
H31年度事業化		H30年度都市計画決定		R3年度用地着手	
全体事業費	約740億円	事業進捗率 (令和5年3月末時点)	約4%	供用済延長	0.0km
計画交通量	3,600~4,700 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (0.3) (残事業) 2.0 (0.3)	総費用 (残事業)/(事業全体) 3,685/12,927 億円 事業費：3,315/12,106 億円 維持管理費：318/ 582 億円 更新費：51/ 238 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 7,484/14,159 億円 走行時間短縮便益：6,498/12,289 億円 走行経費減少便益：784/ 1,481 億円 交通事故減少便益：202/ 388 億円	基準年	令和5年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.02~1.2 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.8~2.3 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.1~1.1 (事業費±10%) 事業費：B/C=1.9~2.2 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1~1.1 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.9~2.1 (事業期間±20%)					
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・現道等の路線バス及び高速バスの利便性や快適性向上が見込まれる ・高知県安芸郡東洋町から徳島阿波おどり空港へのアクセス向上が見込まれる ②物流効率化の支援 ・東洋町から徳島小松島港へのアクセス向上が見込まれる ・徳島県南部における農林水産品（伊勢えび、あわび、アオリイカ等）の流通の利便性向上が見込まれる ③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路 阿南安芸自動車道の一部を構成 ・日常活動圏中心都市間（阿南市～安芸市）を最短時間で連絡する路線を構成する ④個性ある地域の形成 ・大手海岸（海陽町）や生見サーフィンビーチ（東洋町）など主要観光地へのアクセス向上が見込まれる ⑤災害への備え ・唯一の幹線道路である国道55号（現道）を補完し、落石・崩壊による孤立の解消を支援する ・国道55号は第一次緊急輸送道路に指定されている ・国道55号が通行止めになった場合の代替路を形成する ・国道55号の防災危険箇所を回避したルートを形成する ⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる ⑦生活環境の改善・保全 ・NOX排出量の削減が見込まれる ・SPM排出量の削減が見込まれる ⑧その他 ・二次医療施設（徳島県立海部病院）への搬送時間が短縮し、重篤患者の救命率向上が見込まれる					
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： ・徳島県、高知県、海陽町、東洋町や周辺の市町村及び四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部同盟会等より、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。 （令和2年8、10、11月、令和3年7、11月、令和4年2、7、8、11、12月、令和5年1、2、7、8月）					

徳島県知事の意見

- ・「一般国道55号 海部野根道路」の「事業を継続する」という「対応方針（原案）」案については、異議ありません。
- ・「海部野根道路」を含む「阿南安芸自動車道」は、「四国8の字ネットワーク」を形成し、災害時の避難や緊急物資の運搬を支える代替道路のない道路であり、四国東南地域における観光振興、地域産業の育成・発展を支援する重要な社会基盤であります。
- ・このため、県といたしましては、引き続き、用地取得に全力で取り組んで参りますので、工事着手に向け、事業推進をお願いします。
- ・加えて、事業の実施にあたっては、引き続き、コスト縮減をお願いします。

高知県知事の意見

- ・事業継続に異議はありません。
- ・四国8の字ネットワークを構成する一般国道55号海部野根道路は、平常時には、周辺地域の観光拠点への誘客拡大や農林水産品の県外への出荷など、観光振興や産業振興を支える重要な社会資本として、また、発生の際に切迫度が高まる南海トラフ地震をはじめとする自然災害発生時には、信頼性の高い緊急輸送道路を確保するために不可欠な命の道として、重要な役割を担います。
- ・このため、国においては、早期の開通に向け、より一層の事業進捗をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・令和2年4月 阿南安芸自動車道 野根安倉道路 延長8.5km 新規事業化
- ・令和3年2月 高知東部自動車道 高知南国道路 高知JCT～高知南IC 延長6.2km 開通
- ・令和3年3月 四国横断自動車道 阿南四万十線（阿南～徳島東） 徳島津田IC～徳島沖洲IC 延長2.4km 開通
- ・令和3年4月 阿南安芸自動車道 北川道路1工区 延長9.0km 新規事業化
- ・令和4年3月 四国横断自動車道 阿南四万十線（NEXCO 施工区間） 徳島沖洲IC～徳島JCT 延長4.7km 開通
- ・令和4年4月 阿南安芸自動車道 奈半利安芸道路（安田～安芸） 延長9.1km 新規事業化

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成31年度に事業化、用地進捗率約8%、事業進捗率約4%（令和5年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・早期供用に向け、調査設計、用地買収を推進。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

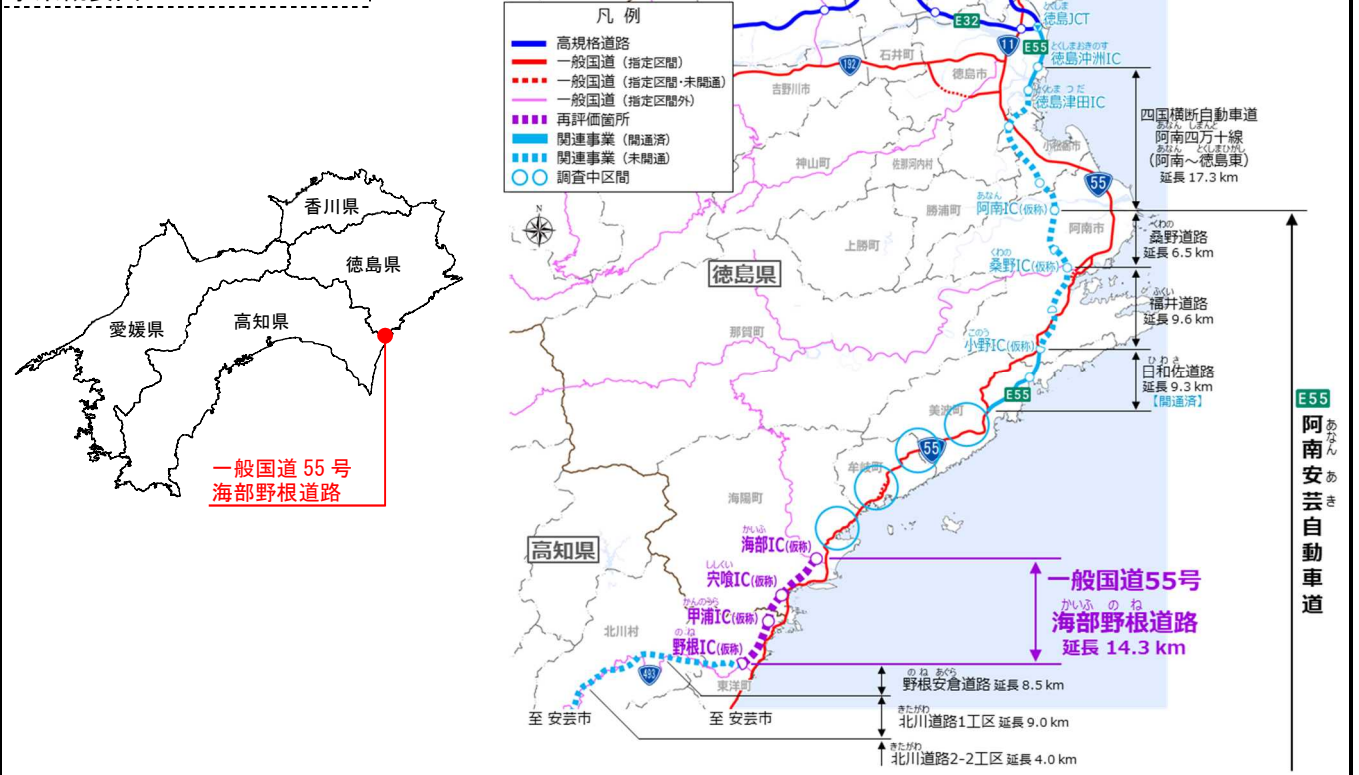
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。